

紺屋百物語

207
150



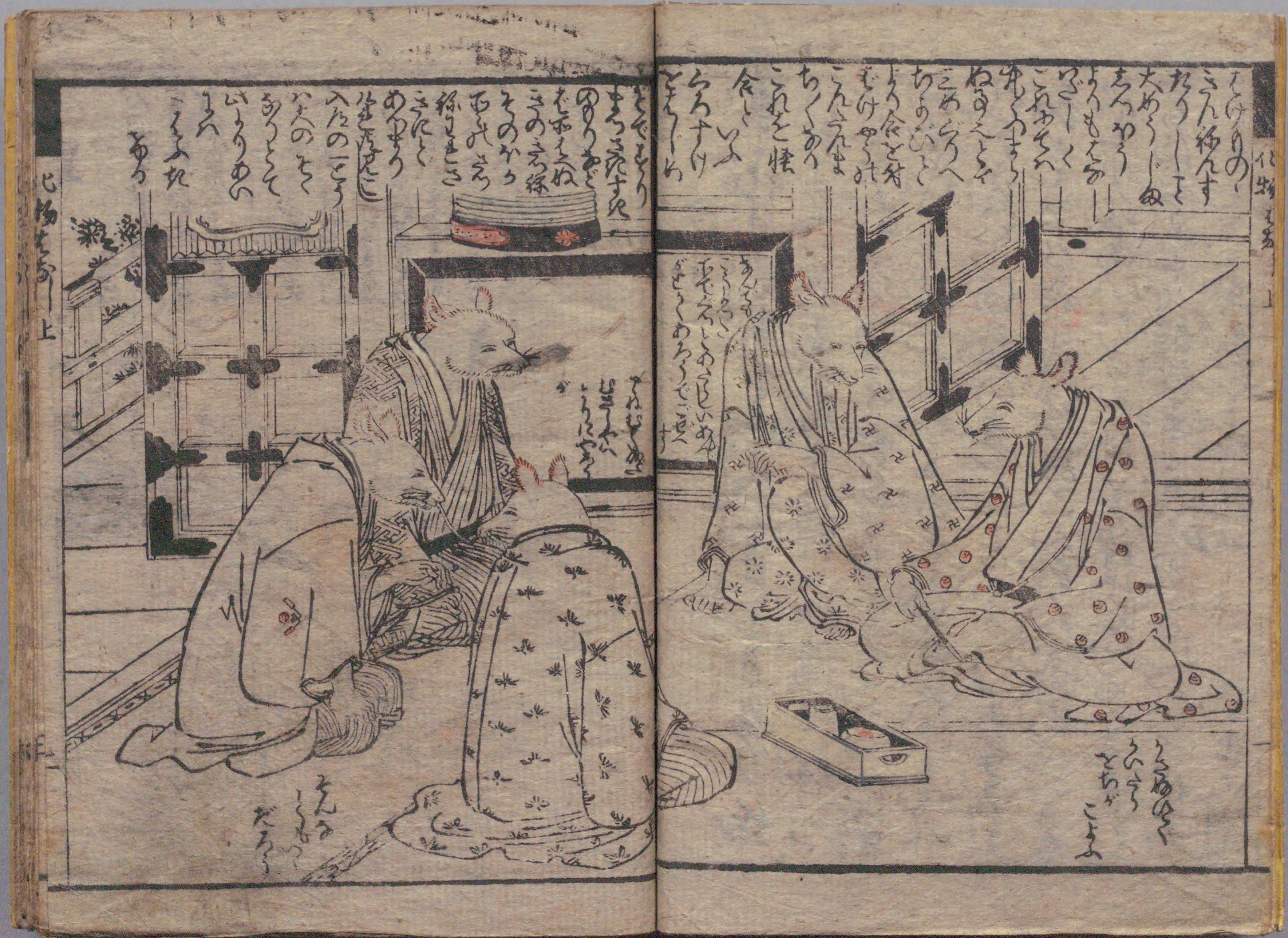
国立国会図書館 紺屋百物語 : 3巻 207-150

ガラス使用

徳川家

天明六年丙午春

207
150



人圓様古中女家松
 実各坊中化化...
 亦化...
 生...
 亦...
 少...
 亦...
 化...
 化...
 一十...
 一廿...



一兩...
 一...
 一...
 一...
 一...

其外...
 其...
 其...
 其...
 其...

内日



化物...上





ちんちんのや
 こりのつかぞ
 は八十をさけ
 せむらうのや
 のんばあひい
 つらひろくの
 こしとひのん
 つひらるとさ
 つあつめんツ
 二十に女をのを
 ゆひさこくす
 と二ツふひけ
 もやんらふこ
 いてうちらふ
 とさげだあま
 ちう百しるさ
 ら平のしるさ
 ほんのえ
 じまのや

七物



火と用台
 ちんちんのや
 こりのつかぞ
 は八十をさけ
 せむらうのや
 のんばあひい
 つらひろくの
 こしとひのん
 つひらるとさ
 つあつめんツ
 二十に女をのを
 ゆひさこくす
 と二ツふひけ
 もやんらふこ
 いてうちらふ
 とさげだあま
 ちう百しるさ
 ら平のしるさ
 ほんのえ
 じまのや

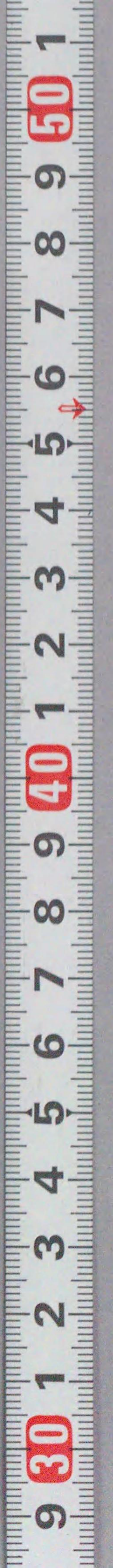


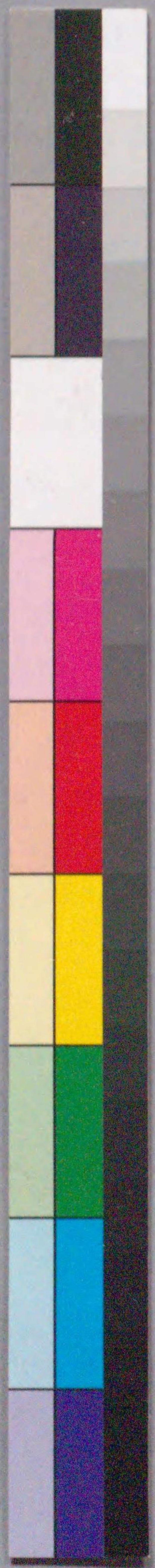


Handwritten Japanese text in kuzushiji script, arranged in vertical columns. The text is positioned above the illustration and appears to be a narrative or dialogue related to the scene below. The characters are densely packed and difficult to read without specialized knowledge of the cursive script.













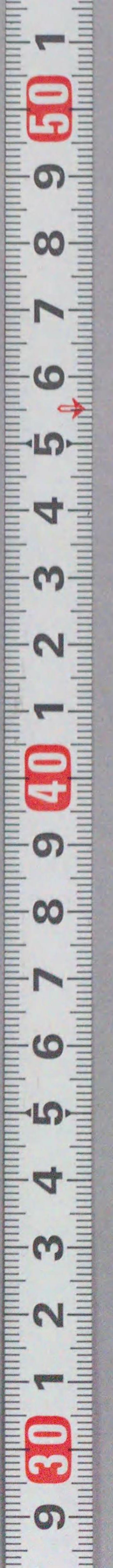
207
150

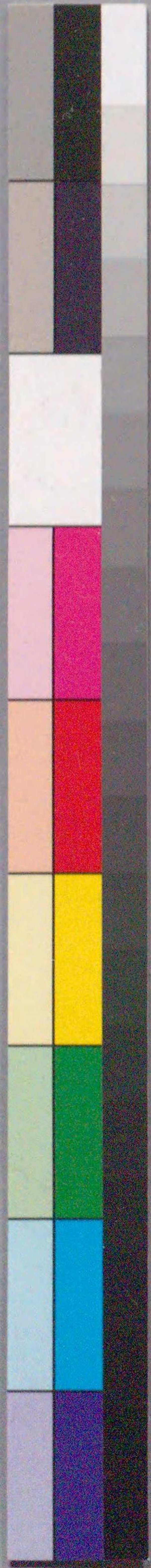
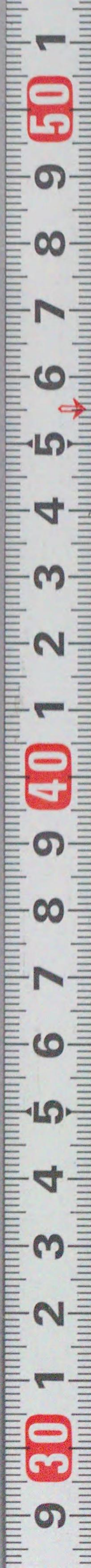
ゆくのふと成
むらりうすの
あすそのえ
子あどのけ
あまはつねさ
あともあ
志んさるん
とさうさ人
な帝かのま
あつあひ
つあつ大の
あやらさ
あまの
むさ成む



三
蝶
殿
作

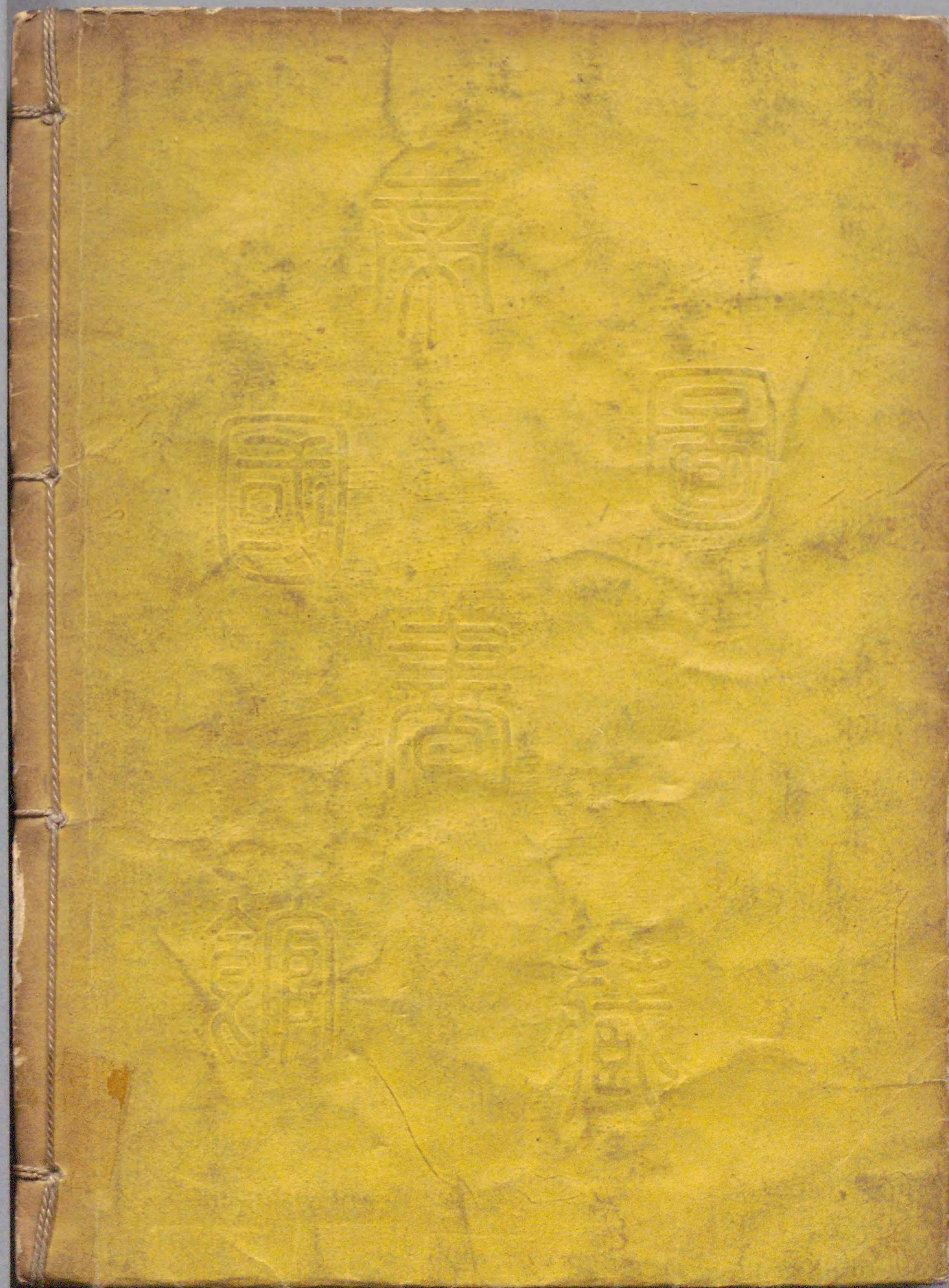
何物
大







国立国会図書館 紺屋百物語 : 3巻 207-150



ガラス使用

